

## 長野県プロ野球選手一覧（2022年）

上原 昇（2組）

今年のプロ野球は3月25日（金）からシーズンの幕を開けた。コロナ禍で一昨年、昨年は試合数や試合時間など、いろいろと制約の中で行われたが、今シーズンは制約なしのスタートとなった。開幕にあたり昨年に引き続き、長野県出身のプロ野球選手の紹介をしておきたい。（昨年分は2021年3月28日に当HPに掲載）

1. 牧秀悟（横浜ベイスターズ、内野手、背番号2、中野市出身、松本第一高 ⇒ 中大 ⇒ 21年横浜ドラフト（D）2位入団）

昨年は新人ながら大活躍、今季年棒も1300万円から7000万円に大幅アップ。開幕3連戦では4番に座り、3戦目には初ホームランを放ち、好スタートを切った、ベイスターズの看板選手として首位打者を狙え。



2. 水上由伸（西武ライオンズ、投手、背番号69、上伊那郡宮田村出身、帝京三高 ⇒ 四国学院大 ⇒ 21年西武育成D入団）

昨年は29試合に登板。今季は、開幕3戦目に初登板、シーズン通しての活躍を期待したい。



3. 直江大輔（読売ジャイアンツ、投手、背番号54、長野市出身、松商学園 ⇒ 巨人19年D入団）

昨年は3試合先発登板で1セーブ。今季は早くも開幕3戦目で延長10回リリーフ登板するも、四球とヒットを打たれ負け投手になり、ほろ苦い初登板となった。今年、勝利を挙げられないと来年の居場所はないだろう。筆者が期待の一人であるだけに、頑張っ



4. <sup>あかはねよしひろ</sup>赤羽由紘（ヤクルトスワローズ、内野手、背番号023、松本市出身、日本ウエルネス筑北高 ⇒ 信濃グランセローズ ⇒ ヤクルト21年育成D入団）

まずは、自慢のパワーで支配下登録の獲得を。



5. <sup>のぞむ</sup>高寺望夢（阪神タイガース、内野手、背番号67、上田市出身、上田西高 ⇒ 阪神21年D入団）

昨季はファームで58試合出場、今季は下記の6. 笹原選手と合わせ、上田出身の2選手の活躍を期待したい。



6. <sup>みさき</sup>笹原操希（読売ジャイアンツ、外野手、背番号009、上田市出身、上田西高 ⇒ 巨人22年育成D入団）

期待のルーキーは高校時代通算33ホームランの実績あり。



（2022年3月28日記）

以上